

法学概論B

科目ナンバリング FUL-104

選択 2単位

山村 恒雄

1. 授業の概要(ねらい)

法学概論Iに続き、法律の基本的問題を、身近な問題をきっかけにわかりやすく説明します。

2. 授業の到達目標

- ①法学部の学生が、今後の専門的な学習を行う上で、基礎的な知識を得ることを目的とする。
- ②報道されるニュースに含まれる法的問題がどのようなことなのか、理解できるような知識を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業中に数回、授業内容確認の課題を出すこととする。評価の比率は、定期試験80%、授業中の課題20%とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

『判例法学』（有斐閣）

出版社や大きさは問わないが、日本の主要な法律が載っているポケット六法など。

5. 準備学習の内容

日常的に生じている法律問題を授業中に用いるので、新聞やテレビ・ラジオのニュースなどに気を配ること。

6. その他履修上の注意事項

わかりやすく説明するとはいえ、大学の授業であるから、授業に出席して内容を理解しておかないと、単位取得は難しいことを理解した上で、履修すること。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス:授業の進め方、講義の方針、学習方法、評価基準について説明するので、受講しようとする学生は、必ず出席すること。

【第2回】 労働関係と法について

【第3回】 労働組合とその活動の保障について

【第4回】 労働契約に関係する法的問題にはどんなものがあるか

【第5回】 刑法の意義について

【第6回】 どのような場合に犯罪が成立するのか

【第7回】 国際社会のルールについて

【第8回】 国際社会の法と国内法との違いは何か?

【第9回】 国家の主権とはなにか?

【第10回】 国際の平和ってどういうこと?

【第11回】 国家間の紛争って、どうやって解決するの?

【第12回】 環境を守ったり、難民を受け入れるって国家が負っている義務なの?

【第13回】 国際連合ってなに?

【第14回】 PKOってなに?

【第15回】 戦争ってなに?